

学部	学科	年次	氏名	今後の抱負等
農学部	亜熱帯生物資源科学科	4	A.S	4 年次は研究が忙しく、なかなかアルバイトをつづけることが困難であったため、経済的に困窮している状態でした。 今回、この支援を受けることができ、少しでも生活のあてにすることができるので、大変うれしく思います。 今後、より一層研究にはげみ、成果をあげられるように努めていきたいと思っています。今回、この事業に寄附していただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。
農学部	亜熱帯地域農学科	4	匿名希望	コロナウイルスの影響や就職活動によってアルバイトが制限されていたため今回の支援事業はとても助かりました。現在は就職先も決まり、卒業研究に力を注いでいます。今回の資金は研究での移動費や、離島へ調査に行く際の遠征費に充てようと考えています。ありがとうございました。
農学部	亜熱帯地域農学科	4	匿名希望	この度は、学資金支援をいただき、誠にありがとうございます。 今年度は、「新型コロナ禍における沖縄県の農産物直売所の対応と課題」というテーマで卒業研究に精一杯取り組む所存です。9月頃からは調査等にも行く予定で、今後も卒業研究完成に向けて努力していきます。"
農学部	亜熱帯生物資源科学科	4	匿名希望	この度は、琉球大学修学支援基金にて学資金の支援の授与を決定していただきありがとうございました。私は、現在卒業論文として扱っているテーマの研究をさらに専門的知見を増やし、携わっている分野についてより深く学びたいと思い今後貴学大学院への進学を希望しております。その中で、学費などの学資金は奨学金から捻出しており、経済的余裕がありませんでした。 しかし、今回の修学支援基金の給付を受けたことで、大学院試験対策の時間や地震の研究に充てる時間が生まれ日々の小さな目標から、将来像について考える機会が多くなり、大学院へ進学しさらに学びたいという決意を固めることが出来ました。 これから、学資金支援事業に関わっていただいた方々への感謝を忘れずに、与えられた時間を無駄にしないように日々勉学、研究に向き合っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。
農学研究科	亜熱帯農学専攻	1	S.N	この度は寄附していただいてありがとうございました。飲食店でバイトをしており、親からの支援も頼みづらい身であ

				る私としてはこの給付金は非常に有難いものとなっています。給付金はまだ支払えていない入学金にあてさせていただきます。
連合農学研究科	農水圏資源環境科学専攻	2	匿名希望	今回は「経済的理由による学資金支援事業」に採用していただき、ありがとうございました。このような機会にめぐまれて大変感謝しております。私は博士課程に進学するとき、博士号を取得するという夢を追求するために、自分の貯金をすべて費やさなければなりません。さらに、COVID-19 のパンデミックの影響により、研究を進めることが難しく、親からの資金提供も難しさが増し、この状況は私の人生をさらに悲惨なものにしました。 この学術的資金援助は、私の研究に集中し続け、私の研究を支援する機会を与えてくれます。今後も研究を継続し、研究への関心を高めていきたいと考えています。最後に、このご支援を受けることができ感謝します。世界に向けた研究を続けていく所存であり、博士号やポスドクを終えた後も、日本の大学とのつながりや技術協力を続けていきます。"
連合農学研究科	農水圏資源環境科学専攻	1	匿名希望	この度は、「琉球大学修学支援基金 経済的理由による学資金支援事業」に基づくご支援を賜り、誠にありがとうございます。 私は家庭の事情から経済的に不安定な状態にあり、2019年から前世界に広がった新型コロナウイルス感染症の影響も相まって、大学院での研究活動に集中することが困難な状況でした。 大学が独自にこのような支援事業を運営されていることは大変心強く、また、非常に迅速なご支援をいただけることは感謝の念に堪えません。 いただいた支援金は、修学や研究のために大切に使用させていただきます。
連合農学研究科	農水圏資源環境科学専攻	1	R.H	"When I look at myself in future, I need myself to be an innovative and expert scientist in the field of hydrology who contributes both nationally and internationally. During my academic life, especially while I focus on environmental concerns of groundwater pollution due to agricultural activities, I felt excitement on making a valuable academic contribution to ensure sustainable utilization of water

				resources and helping improve wellbeing of people in water scares regions. Thus, in future I will work to identify the vulnerability of groundwater systems to agricultural pollution and raise the public and institutional a awareness of implementation of effective groundwater management strategies and policies. And I would continue my work on water resource conservation in broad extent by doing research in in different agro-climatic regions in different parts of the world. In addition, I am willing to take part in community programs organized by the United Nations, World Water Council, and other International Organizations with the purpose of protecting and restoring water-related ecosystems and their biodiversity so that the knowledge, skills and experiences I gained over my academic life could be beneficially utilized both nationally and internationally. I would like to take this opportunity to thank for the donors of this scholarship for their generosity. I am sincerely be honored to be awarded with this scholarship. I am engaged in my doctoral degree at the United Graduate School od Agricultural Sciences, Kagoshima University. As I am a privately financed student, I really appreciate the financial support given by you which will help me to carry out my studies well. Especially during this most challenging pandemic situation, providing this kind of scholarships are a positive influence for students which encourage them to keep moving forward. Therefore, I would like to thank all the kindhearted people who contributed to provide this scholarship. Your generosity is an inspiration for the students to help others and give back to the community. I hope one day I would be able to help students achieve their goals just as you have done. And I hope you and your family remain healthy during this time of change in our world. Thank you very much!"
法務研究科	法務専攻	2	匿名希望	学資金の支援を決定して頂き、ありがとうございます。 新型コロナウイルスが流行したことで両親の収入が減り、参考書を買うことが簡単には出来なくなりました。 経済的な事情で学校を辞めざるを得なくなったという方も居

				て、当たり前勉強ができるわけではないと痛感しました。 私が日々勉強できていることは、すごくありがたいことだと思っています。 何の制約もなく、法律を学んでいることに感謝してこれからも勉強に励みたいと思います。 支援して頂いた学資金で、新しい参考書と、短答の過去問を買いたいと思っています。 新しい参考書で、さらに理解を深めて、司法試験合格に少しでも近づけるように頑張りたいと思います。 将来、支援して頂いた方々に恩返し出来るように努力し続けます。"
法務研究科	法務専攻	3	匿名希望	この度は、令和3年度琉球大学修学支援基金経済的理由による学資金支援事業を実施して頂き、誠にありがとうございます。 現在は、昨年度からのコロナウイルス感染拡大による影響により、学修環境が今までと、まったく異なってしまった状況にあります。そのような状況において、寄附者の皆さまからのあたたかいご支援は、今後の学修をどの様に行うべきか日々模索している私にとって、「学習意欲のある者に対して、大学は可能な限り支援する」という力強いメッセージとして、心の支えとなっております。 寄附者の皆さま方から頂いたご支援を、後進の学生のみならず社会に還元できるよう、今後も学修に励みたいと思います。この度は誠にありがとうございました。"